

# KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC.

## 電動巻き上げスクリーン

TGE-WL [TGE-WL130HD] [TGE-WL140HD] [TGE-WL150HD]

## 取り扱い及び設置説明書



お客様へ

- このたびは、キクチプロジェクションスクリーンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- お使いいただく前に「取り扱い及び設置説明書」を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取り扱い及び設置説明書」は、お使いいただく方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

工事店様へ

- 設置工事が終わりましたら、この「取り扱い及び設置説明書」は必ずお客様へお渡しください。

# 目次

安全上のご注意 . . . . . 3

寸法図・各部名称 . . . . . 4

設置方法 . . . . . 5-6

受信機の取り付けと結線方法 . . . . . 7

赤外線リモコンの操作方法

スクリーンの停止位置調整方法 . . . . . 8

受信機本体スイッチの操作方法

個別アドレス設定方法

トラブル時の対処 . . . . . 9



スクリーン面の取り扱い方法 . . . . . 10

# 安全上のご注意



必ずお守りください





本スクリーンをお使いいただく方への危害と財産への損害を未然に防止し、正しく安全にお使いいただくために重要な内容を下記に表示し説明しています。本文をお読みになり内容をよくご確認いただいた上で、記載事項をお守りください。記載事項をお守りいただけないことにより生じた損害や、天災などによる損害について当社は一切責任を負いかねます。

■表示内容と異なる誤った使い方をした場合に生じる、危害や損害の程度を以下の区分で説明しています。

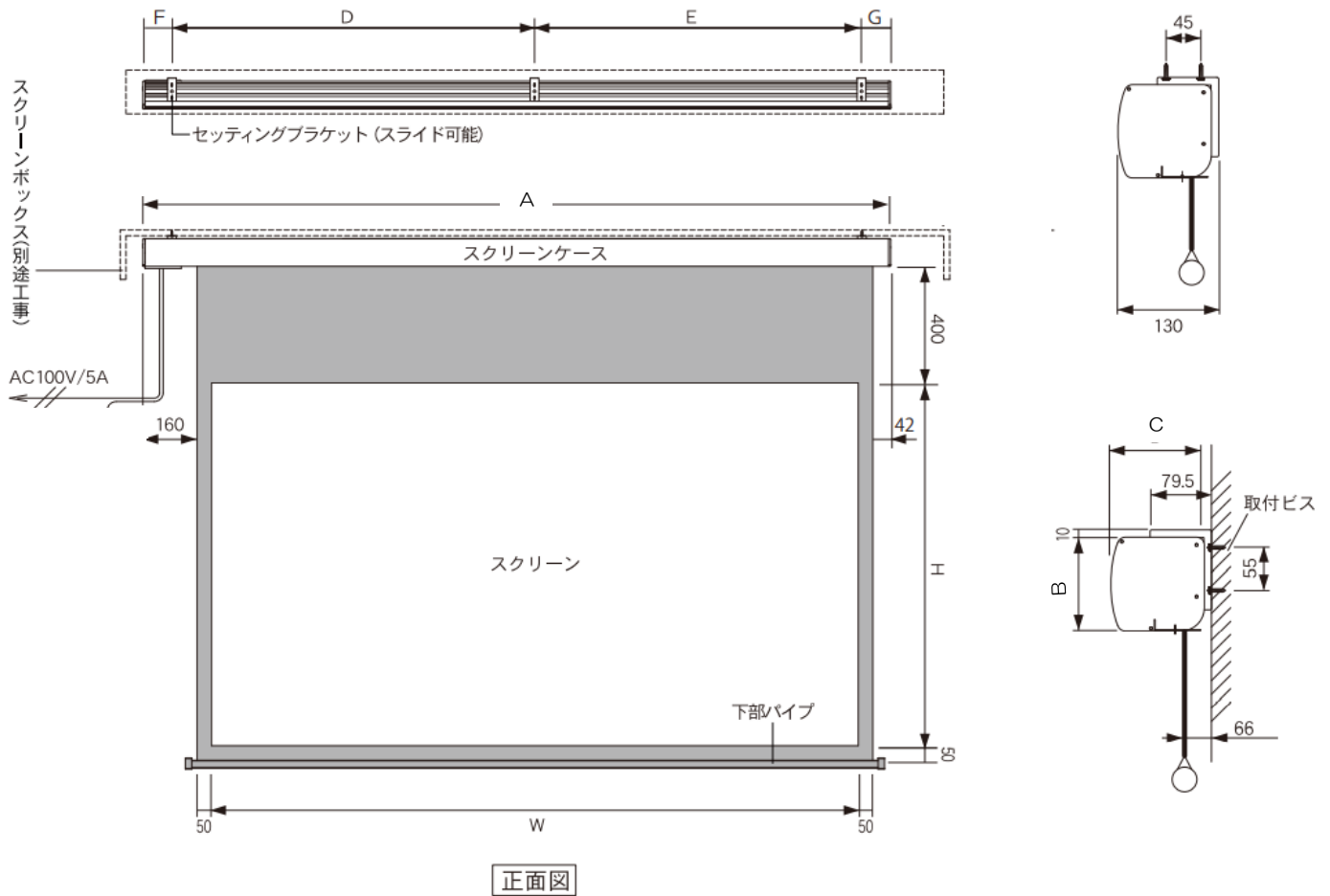
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容を以下の区分で説明しています。

	してはいけない「禁止」を示します。
	「必ず実施していただくこと」を示します。

 <b>実施</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●本スクリーンの設置を行う際は周囲の安全をご確認の上、必ず二人以上で作業を行ってください。</li><li>●取り扱い及び設置説明書をご参照の上、付属部品などの梱包内容物がそろっているかご確認ください。</li><li>●小さい付属部品は紛失しないように、分かりやすい場所に置くなどして作業を行ってください。</li><li>●設置作業を行う前に取り扱い及び設置説明書をご確認の上、必ず手順にしたがってください。</li><li>●本スクリーンを昇降させる際は、周囲の安全をご確認の上操作してください。 また、使用後は必ずスクリーンをスクリーンケースに収納してください。</li><li>●長期間スクリーンを使用しない場合でも、定期的に昇降させて動作を確認してください。</li></ul>
 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●梱包物には、重たい部材が含まれております。足に落とすなどして、怪我をしないようご注意ください。</li><li>●本スクリーンは固定設置での使用を想定して設計しております。 設置面として、安全性が確認できない場所や、不安定な場所などに設置しないでください。</li><li>●本スクリーンを直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱器具のそばなどに設置(保管)しないでください。また、設置前や移設・移動などをする際には、高温の車中への放置もさけてください。</li><li>●本スクリーンを第三者に譲渡及び移設される場合は、必ず『取り扱い及び設置説明書』と共にお渡しください。また、譲渡される方へ『取り扱い及び設置説明書』を、よくお読みになってから設置・使用されるようにご説明ください。</li></ul>
 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●本スクリーンを主用途以外(分解、改造を含む)で使用しないでください。 また、乱暴に取り扱わないでください。</li><li>●本スクリーンを設置・取り付けする際に、梱包内容物以外の部材は使用しないでください。</li><li>●本スクリーンは、屋内での使用を想定して設計しております。屋外など天候の影響を受ける場所(環境)では、想定外の破損や故障が発生する可能性がありますので必ず屋内に設置してください。</li><li>●万が一、本スクリーンに破損・変形などの不具合が発見された場合は、いかなる事由に限らず使用しないでください。</li></ul>
 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●本スクリーンにぶらさがる、掲示物をかけるなど過度な重量をかけないでください。</li><li>●本スクリーンのコンセントは、取り付け・設置作業が完了してから接続してください。</li><li>●本スクリーンを設置した後、定期的に点検してください。また、スクリーン本体及び取り付け・設置部などに緩みを発見した場合はネジなどを締めなおしてください。</li><li>●本スクリーンに、熱源や火気を近づけないでください。</li></ul>

# 寸法図・各部名称



HD(16:9)

【寸法:mm】

製品型番	スクリーンサイズ		外形寸法			推奨取り付け穴芯				重量 (kg)
	W	H	A	B	C	D	E	F	G	
TGE-WL130HD	2878	1619	3180	121	120	1400	1400	249	131	20.0
TGE-WL140HD	3099	1743	3401	121	120	1500	1500	259.5	141.5	22.3
TGE-WL150HD	3320	1868	3622	121	120	1600	1600	270	152	23.6

## 梱包内容物

- ・スクリーン(本体) × 1
- ・電源コード × 1
- ・TSWL-2【赤外線リモコン ×1 受信機 ×1 電池(単4) ×2 ナベビスP-3【M3×5】×1含む】
- ・セッティングブラケット ×3
- ・取り扱い及び設置説明書 × 1
- ・トラスタッピングビス【4×50】×6

## オプション(別売り)

- ・シーリングブラケット(CMB-TM)

# 設置方法

## 設置する位置を決める前に



本スクリーンを設置する前に工事店様とご相談の上、設置する天井の強さをご確認ください。  
また、設置する天井の強さが不足している場合は、適宜補強してください。

### 1. セッティングブラケットを天井に設置する

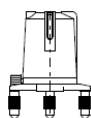
⚠️ 警告 ⚠️ 注意 ❌ 禁止

使用部材： セッティングブラケット×3、トラスタッピングビス【4×50】×6

別途ご用意いただくもの： レーザー墨出し器、電動ドライバー、スケール、鉛筆 など



セッティングブラケット



レーザー墨出し器



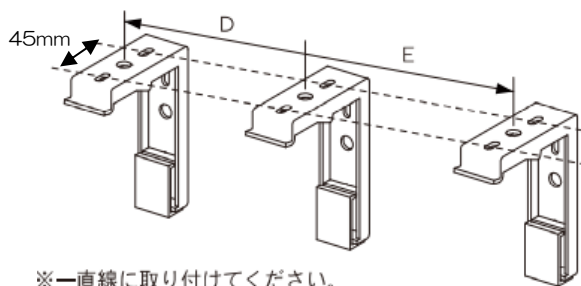
電動ドライバー など

- ① 設置する天井または壁面の状態確認や補強などが完了しましたら、スケールやレーザー墨出し器などを使ってセッティングブラケットが4ページ「推奨取り付け穴芯 D・E」の位置に、平行になるように鉛筆などでマーキングしてください。

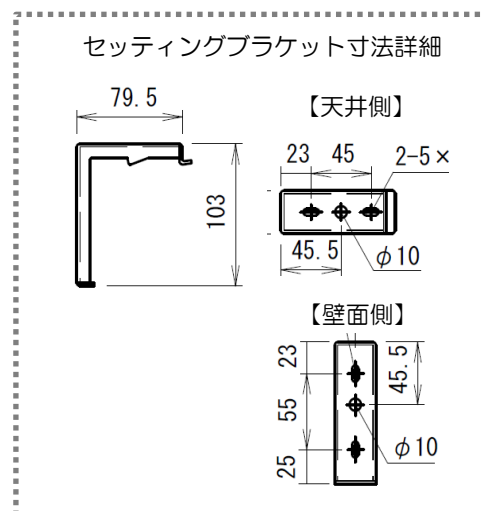
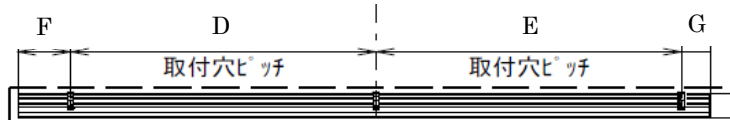
マーキングした位置にセッティングブラケットを添わせ、鉛筆などでマーキングしてください。

取り付け穴ピッチ：天井側=45mm 壁面側=55mm

- ② ②でマーキングした位置にセッティングブラケットの穴を合わせたら、付属のトラスタッピングビスで電動ドライバーなどを使って、セッティングブラケットを固定・設置してください。



※一直線に取り付けてください。



⚠️ 注意 天井または壁面に設置する場合、厚さ 20 mm以上の下地材が必要となります。



製品型番ごとの「取り付け穴芯 D・E」の各寸法は、4ページをご参照ください。

## 2.スクリーン(本体)をセッティングブラケットに取り付ける



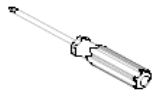
警告

注意

禁止

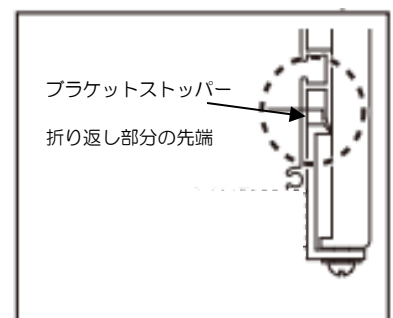
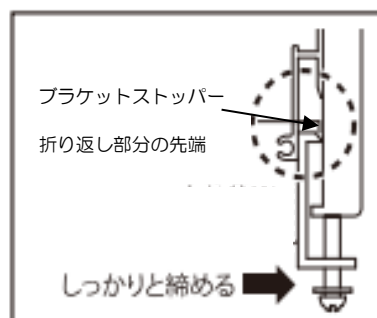
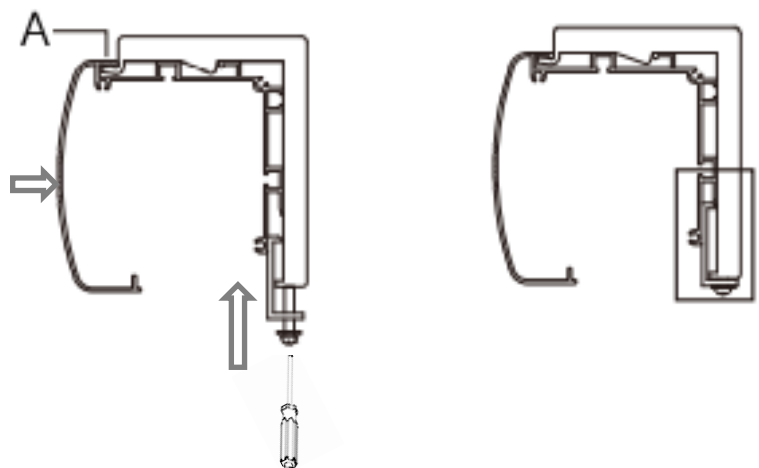
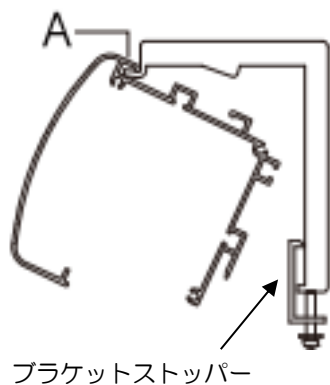
使用部材： スクリーン(本体) ×1 セッティングブラケット×3

別途ご用意いただくもの： プラスドライバー など



プラスドライバー

- ① セッティングブラケットの先端 (A) をスクリーン本体天面手前側の溝に差し込み、確実に引っ掛けてください。
- ② セッティングブラケットの先端 (A) を支点としてスクリーン本体をセッティングブラケットに押し当ててください。
- ③ スクリーン本体を壁面側に押し当ててスクリーン本体が水平であるか確認してください。水平であることを確認したらブラケットストッパーを持ち上げた状態で支えながら、プラスドライバーで締めて固定してください。



警告  
注意

スクリーン(本体)を取り付けする際は周囲の安全をご確認の上、必ず二人以上で作業を行ってください。一人での作業は、スクリーン(本体)の落下や作業者の転倒または転落などの危険があるのでおやめください。フック部への引っ掛けや固定用ナベネジの締め付けは確実に行ってください。取り付け状態が不十分な場合にスクリーン(本体)が落下するなどの危険があるので確実に固定・取り付けしてください。

# 受信機の取り付けと結線方法

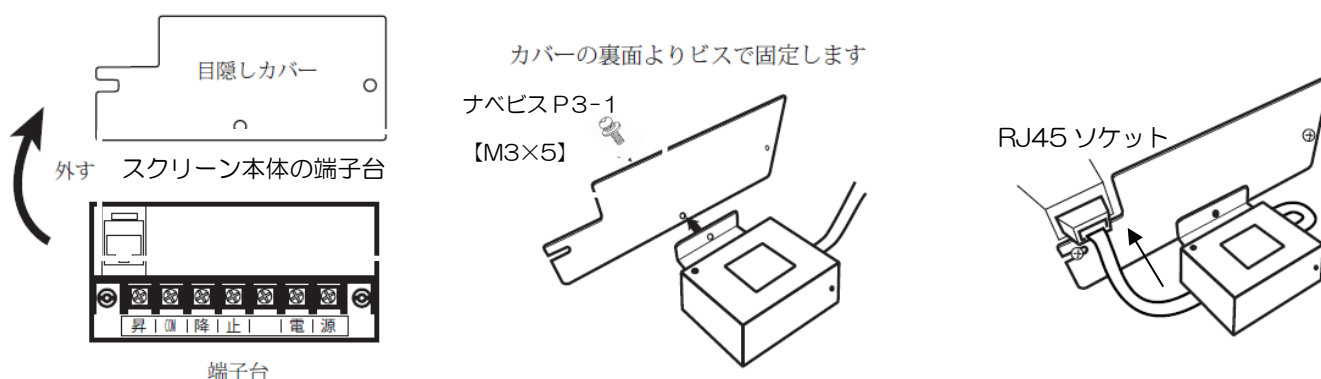
⚠️ ⚠️ 警告 ⚠️ 注意 ⚠️ 禁止

使用部材： 受信機 × 1、ナビビス P3-1【M3×5】 × 1

別途ご用意いただくもの： プラスドライバー など

## 1. 受信機を端子台カバーに固定する

- ① 図のように、使用するスクリーン本体から端子台カバーをはずしてください。
- ② 端子台カバー裏面から付属のナビビス P3-1【M3×5】で受信機を固定してください。
- ③ ①ではずした端子台カバーをスクリーン本体に固定してください。
- ④ 受信機側のコネクタを端子台の RJ45 ソケットに確実に差し込んでください。  
(リモコンから受信機までの赤外線到達距離は、最長約 7mです。)



- ・ 接続をするときは、必ず電源を切って作業をしてください。
- ⚠️ 警告 ・ 間違った接続をすると動作しない、または誤動作する恐れがあります。
- ⚠️ 注意 ・ 線を確実に端子へ接続しないと、線が端子から外れて動作しない恐れがあります。
- ・ 中間ケーブルと電源ケーブルの配管配線工事は別途となります。
- ⚠️ ・ 赤外線リモコンの送信部と受信機の受光部との間に障害物がないように設置してください。

## 赤外線リモコンの操作方法

⚠️ ⚠️ 警告 ⚠️ 注意 ⚠️ 禁止

スクリーン本体の受信機と赤外線リモコン送信部との間に障害物がないところで、送信部を受信機に向けて操作してください。

DOWN ボタン スクリーンを使用するとき

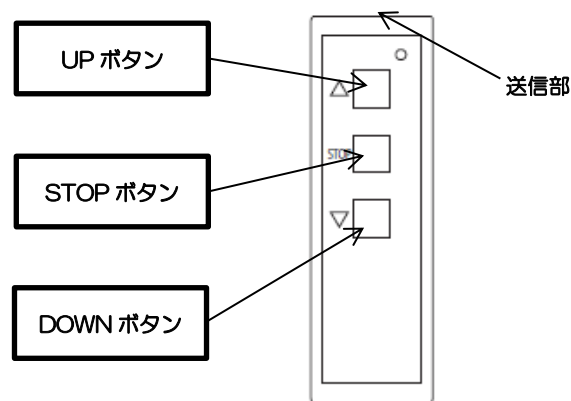
DOWN ボタンを押すとスクリーンが設定されている停止位置まで下がり、停止します。

UP ボタン スクリーンを収納するとき

UP ボタンを押すとスクリーンが上昇してスクリーンケースに収納され、停止します。

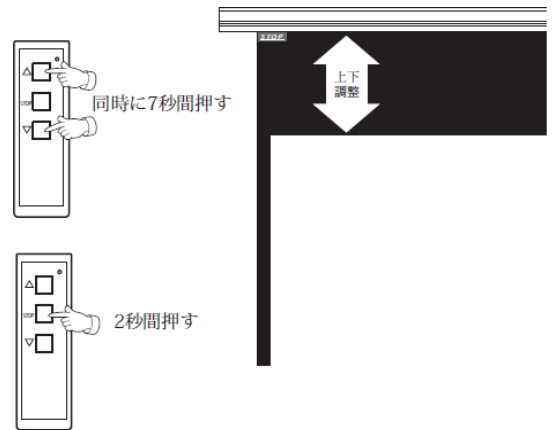
STOP ボタン スクリーンを停止させるとき

スクリーンの動作を途中で止めたいとき、「STOP」ボタンを押します。



## スクリーンの停止位置調整方法

- ① 「▽」ボタンで下限設定位置までスクリーンを下げてください。
- ② 右の図のように、リモコンの「△」+「▽」ボタンを同時に7秒間長押ししてください。  
スクリーンが小さく上下に動いたら、ボタンから指をはなしてください。これで設定モードになります。
- ③ リモコンの「△」と「▽」ボタンでスクリーンの停止位置を調整したら、「STOP」ボタンを2秒間長押ししてください。  
スクリーンが②と同じように動いたら、ボタンから指をはなしてください。  
これで停止位置の調整・設定は完了です。

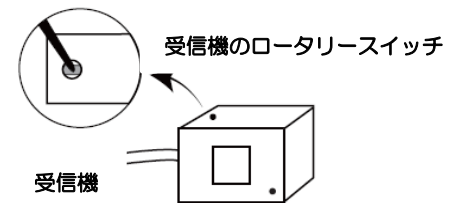


## 受信機本体スイッチの操作方法

赤外線リモコンを紛失した場合や、スクリーン本体近くで作業する場合、先の細いもので受信機のロータリースイッチを押すことでスクリーンの昇降操作が可能です。

- ① 1回押し：スクリーンが下限設定位置まで下がります。
- ② 2回押し：スクリーンが停止します。
- ③ 3回押し：スクリーンが上昇し収納されます。

⚠️ 警告 ⚠️ 注意 ❌ 禁止



## 個別アドレス設定方法

本機（TSWL-2）を使用しているスクリーンが近くに複数台ある場合、1つの赤外線リモコンですべて操作できてしまいます。

下記設定により個別に最大3つまでアドレスを設定でき、個別のリモコンでそれぞれを操作することができます。

- ① 受信機のコネクター（RJ45）をスクリーン本体から外してください。
- ② マイナスドライバーなどを図1のように差し入れて受信機のカバーをはずしてください。
- ③ 図2のDIPスイッチのパターンにより最大3つまでアドレス設定可能です。  
※図の濃色部がDIPスイッチの凸 ※工場出荷時はアドレス1に設定されています。
- ④ スイッチの設定が完了したらカバーをはめて、受信機のコネクターを接続してください。

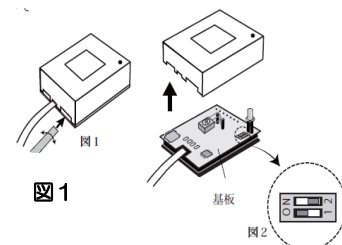


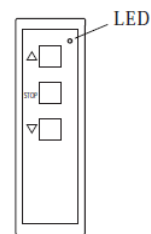
図2

アドレス 1 (工場出荷時)	アドレス 2	アドレス 3

赤外線リモコンのアドレス設定方法（送信機の電池カバーをはずして、電池1個をはずしておきます）  
はずした電池を入れなおす際に下記の手順を行うと設定されます。設定が完了するとリモコンのLEDが点滅します。



アドレス1（工場出荷時）「△」ボタンを押しながら電池を入れて3秒間長押しする。  
 アドレス2（工場出荷時）「STOP」ボタンを押しながら電池を入れて3秒間長押しする。  
 アドレス3（工場出荷時）「▽」ボタンを押しながら電池を入れて3秒間長押しする。



## トラブル時の対処

修理に出す前に、もう一度下記に表示している点検を実施してください。

それでも修復できない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

### ①赤外線リモコンについての項目

症状	原因	対処
赤外線リモコンが機能しない。	電池が切れている。	新しい電池(単4×2本)に交換してください。
	受信機のコネクターが正しく接続されていない。	確実に結線されているか確認してください。(7ページ) 正しく結線されていない場合は、ただちにお買い上げ店にお問い合わせください。
	個別アドレスの設定があっていない。	受信機本体カバーをあけてDIPスイッチの状態を確認してください。(8、9ページ) DIPスイッチのパターン(アドレス1~3)にあわせてリモコンの設定を行ってください。

### ②スクリーンの動作について

症状	原因	対処
スクリーンがまったく動作しない。	繰り返し動作させたことでモーター内部のサーモリミットが働いた。	20~30分放置しモーターを冷ますことで復旧します。
	電源コードが接続されていない。	電源の接続を確認してください。
	異常な電圧(静電気や雷)によって制御ボックス部が破損した。	ただちにお買い上げ店にお問い合わせください。
スクリーンが所定の位置で止まらない。	リミット設定が変更された。	リミット位置の調整および設定を行ってください。(8ページ)

## スクリーン面の取り扱い方法

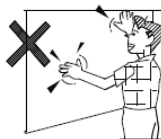
❗ ⚠️ 警告 ⚠️ 注意 🚫 禁止

スクリーン面は反射性能を強化するために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。

傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして丁寧にお取り扱い下さい。

## 使用上のご注意

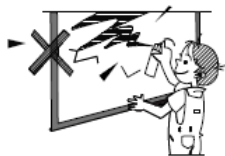
- スクリーン面に手をふれないでください。



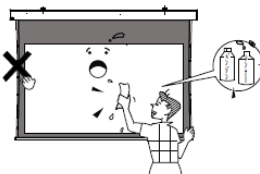
- ケースは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。



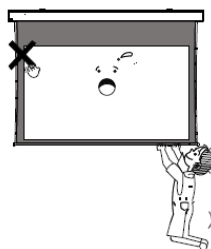
- スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



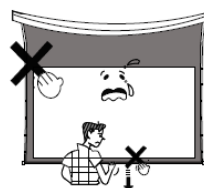
- 水を湿らせた布やベンジン、シンナーなどでスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質します。



- ケースやスクリーンにぶらさがったり、掲示物をかけたりしないでください。破損の原因、落下しけがの原因となることがあります。

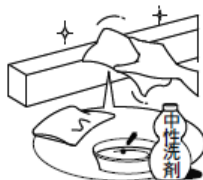


- スクリーンを無理に引き出さないでください。ケースまたはスクリーンが脱落する恐れがあります。

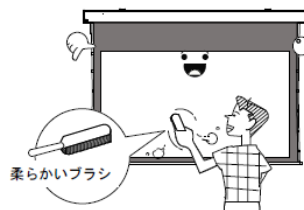


## お手入れのしかた

- ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で水分をふき取ってください。



- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。



製造販売元

**KIKUCHI**  
KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC.

株式会社キクチ科学研究所

<http://kikuchi-screen.co.jp/>

本社 〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-12-35 TEL 03-3952-5131 (代)

大阪営業所 〒556-0014 大阪府大阪市西区北堀江 1-5-2 四ツ橋新興産ビル 100B TEL 06-6567-9035 (代)

LAB2305A